



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 日本ナレッジ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5252 URL <https://www.know-net.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 洋一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 青木 一男 TEL 03-3845-4781  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	991	1.1	△37	—	△36	—	△64	—
2024年3月期第1四半期	980	—	29	—	34	—	5	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△46.85	—
2024年3月期第1四半期	4.01	—

(注) 2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため、また、2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,922	991	51.6
2024年3月期	2,121	1,083	51.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 991百万円 2024年3月期 1,083百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,162	8.3	10	△88.8	14	△85.1	10	△84.5	7.47
通期	4,553	11.7	120	△52.0	125	△53.1	86	△57.0	63.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	1,376,000株	2024年3月期	1,376,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	45株	2024年3月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	1,375,955株	2024年3月期1Q	1,376,000株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(セグメント情報の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(重要な後発事象の注記) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用環境の改善等、経済環境に改善の傾向がみられました。一方で円安進行や物価上昇による家計や企業への影響もあり、経済状況の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属するIT関連業界においては、引き続き企業のIT投資が拡大傾向にあると共に、IoTやAIなどのDXに関連する投資が増加しており、今後も堅調に推移すると認識しております。

こうした事業環境の中、当社においては、他社と差別化するための独自性のあるサービス提供に向けた積極的な取り組みや、新たな市場の開拓にも注力し、企業価値の向上に努めてまいりました。

一方で中長期の視点に立った人材投資政策として、積極的な人材確保及び社員の待遇向上を目的とした賃金・手当の向上に取り組んだ結果、人件費等が増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高991,075千円（前年同期比1.1%増）、営業損失37,186千円（前年同期は営業利益29,641千円）、経常損失36,220千円（前年同期は経常利益34,158千円）、四半期純損失64,465千円（前年同期は四半期純利益5,520千円）となりました。

各セグメントの経営成績につきましては、次のとおりであります。

#### ① 検証事業

当社の検証事業では、ソフトウェア開発の各工程において、テストの計画立案からテスト設計・実行、そしてプロセス改善提案に至るまで、顧客企業のソフトウェア品質向上のためのサービスを提供しております。

当第1四半期累計期間におきましては、同業他社との差別化を図るため、継続してテストの自動化を推進したことで、複数の顧客のテスト自動化を受託し、実績をあげることができました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は683,030千円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益85,575千円（同12.9%減）と増収減益の結果となりました。

#### ② 開発事業

当社の開発事業では、自社開発パッケージ製品の販売及びカスタマイズ、受託システム開発、セキュリティ関連製品の販売が主な事業内容となっております。

自社開発パッケージ製品の販売及びカスタマイズ、受託システム開発においては、従前より株式会社大塚商会のERP「SMILEシリーズ」の開発及びカスタマイズを中心に行っております。特に鋼材業・木材業向けに「SMILEシリーズ」で機能する業種テンプレートを自社開発し、これらの販売・サポートについても、パートナー企業との連携を強化し、展開してまいりました。

一方、対前年同期比では、前年同期にあったデジタルインボイス制度による特需が終了したことにより、前年同期に対して売上高、セグメント利益とも減少致しました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は308,044千円（前年同期比10.1%減）、セグメント利益は44,791千円（同49.4%減）と減収減益の結果となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ199,425千円減少し、1,922,548千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ192,505千円減少し、1,325,019千円となりました。この主な要因は現金及び預金の減少145,301千円によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ6,919千円減少し、597,528千円となりました。この主な要因は、投資有価証券の取得10,000千円及びソフトウェアの増加4,171千円一方で、繰延税金資産の減少24,013千円があったことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ110,352千円減少し、862,887千円となりました。この主な要因は、仕入債務の減少62,857千円、未払法人税等の減少46,032千円及び賞与引当金の減少38,179千円によるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ3,563千円増加し、68,550千円となりました。この主な要因は、長期借入金の返済5,001千円があったものの、リース債務が5,207千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ92,636千円減少し、991,111千円となりました。これは主に配当金の支払27,519千円及び四半期純損失64,465千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2024年5月15日公表の業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	848,675	703,374
売掛金及び契約資産	635,832	569,531
仕掛品	5,610	2,453
前渡金	9,151	16,452
前払費用	17,009	31,550
その他	1,277	1,657
貸倒引当金	△31	—
流動資産合計	1,517,525	1,325,019
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	37,699	36,739
車両運搬具(純額)	667	567
工具、器具及び備品(純額)	17,766	17,262
土地	109,121	109,121
リース資産(純額)	10,064	14,162
建設仮勘定	241,376	241,376
有形固定資産合計	416,696	419,229
無形固定資産		
借地権	8,190	8,190
ソフトウェア	1,125	5,296
その他	188	308
無形固定資産合計	9,504	13,795
投資その他の資産		
投資有価証券	22,213	32,775
出資金	16,450	16,450
長期前払費用	1,861	1,858
繰延税金資産	52,927	28,914
その他	84,919	84,630
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	178,248	164,503
固定資産合計	604,448	597,528
資産合計	2,121,973	1,922,548

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	287,093	224,235
短期借入金	250,000	250,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	20,838	20,838
リース債務	6,029	5,158
未払金	22,011	13,442
未払費用	84,367	99,813
未払法人税等	50,861	4,829
未払消費税等	33,738	53,539
契約負債	60,143	55,267
預り金	28,443	44,229
賞与引当金	109,713	71,533
流動負債合計	973,239	862,887
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	27,493	22,492
リース債務	5,736	10,944
資産除去債務	21,032	21,062
その他	724	4,051
固定負債合計	64,986	68,550
負債合計	1,038,225	931,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,100	217,100
資本剰余金	158,340	158,340
利益剰余金	705,031	612,889
自己株式	△76	△76
株主資本合計	1,080,395	988,253
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,352	2,858
評価・換算差額等合計	3,352	2,858
純資産合計	1,083,748	991,111
負債純資産合計	2,121,973	1,922,548

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	980,529	991,075
売上原価	793,683	860,707
売上総利益	186,846	130,367
販売費及び一般管理費	157,204	167,554
営業利益又は営業損失(△)	29,641	△37,186
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	602	729
受取家賃	337	365
売電収入	157	147
保険配当金	545	683
助成金収入	2,232	—
その他	1,019	11
営業外収益合計	4,895	1,936
営業外費用		
支払利息	170	534
社債利息	17	10
支払保証料	124	37
保険解約損	—	269
その他	66	119
営業外費用合計	378	970
経常利益又は経常損失(△)	34,158	△36,220
特別利益		
固定資産売却益	—	999
特別利益合計	—	999
特別損失		
固定資産除却損	—	3,173
特別損失合計	—	3,173
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	34,158	△38,393
法人税、住民税及び事業税	743	2,923
法人税等還付税額	—	△1,083
法人税等調整額	27,893	24,231
法人税等合計	28,637	26,071
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,520	△64,465

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報の注記)

I 前第1四半期累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	637,913	342,615	980,529	—	980,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△14,447	14,447	—	—	—
計	623,466	357,063	980,529	—	980,529
セグメント利益	98,276	88,569	186,846	△157,204	29,641

(注) 1. セグメント利益の調整額△157,232千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用157,232千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	683,030	308,044	991,075	—	991,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△22,025	22,025	—	—	—
計	661,005	330,070	991,075	—	991,075
セグメント利益	85,575	44,791	130,367	△167,554	△37,186

(注) 1. セグメント利益の調整額△167,554千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用167,554千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
減価償却費	4,224千円	5,076千円

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。